

東京・春・音楽祭 —東京のオペラの森2011—
SPRING FESTIVAL IN TOKYO TOKYO OPERA NOMORI 2011

東京
春祭

TOKYO OPERA NOMORI

マーラー《大地の歌》

4/2 [土] 東京文化会館 大ホール
18:00開演 (17:00開場) Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

■料金 S ¥10,000 A ¥7,000 B ¥5,000 C ¥3,000 U-25チケット ¥2,000
【主催】東京・春・音楽祭実行委員会

*U-25チケットに関しては裏面をご確認ください

指揮: ミハエル・ボーダー
Conductor: Michael Boder

メゾ・ソプラノ: リオバ・ブラウン
Mezzo Soprano: Lioba Braun

テノール: ロバート・ディーン・スミス
Tenor: Robert Dean Smith

管弦楽: 読売日本交響楽団
Orchestra: Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo



そこかしこに花咲かせ愛しき大地は甦る、永遠に――

東京春祭が
マーラー・イヤールに贈る、
至上の「大地の歌」

GUSTAV MAHLER
1860-1911 "Das Lied von der Erde"

GUSTAV MAHLER

“Das Lied von der Erde”

グスタフ・マーラー《大地の歌》

ロバート・ディーン・スミスとリオバ・ブラウン、この2人が歌う《大地の歌》を東京で聴けるのは、マーラーの記念年(2010年は生誕150年、2011年は没後100年)が続く、この2年でも特筆すべきことに違いない。

この半世紀に一度の記念すべき年に、世界中で行われている主要なマーラー・チクルスでは、彼らの名前がしばしば目に付く。ということは、現在、生で聴くことができる最高のマーラー歌手たちというわけだ。例えば、1920年に世界初となるマーラー・フェスティバルを開催するなど、マーラーと縁が深いコンサート・ピエール・ブルジョワ(ヤンソンス指揮、ルイージ指揮)にはスミスが、また、ブラウンはミュンヘン・フィル(ティーレマン指揮)、ゲヴァントハウス管(シャイー指揮)などといった具合だ。

スミスは度々来日しており、すでにご存知の方も多いことだろう。ブラウンは日本ではまだ馴染みがないかもしれないが、ティーレマンやメータ、パレンボイムなどに重用される実力派メゾ・ソプラノで、今後はラトル指揮ベルリン・フィルの《トリスタンとイゾルデ》への出演も予定されている。

指揮台に立つのは、名門リセウ大劇場の音楽監督であり、歌手たちからの信頼が篤いミヒャエル・ボーダー。現代曲にも定評がある彼は、若い頃ミヒャエル・ギーレンの助手を務めたという。であれば、マーラー作品も得意としていることは想像に難くない。常任指揮者カンブルランのもと、新しい音を聴かせている読響から、ボーダーはどのようなサウンドを引き出すのだろうか。カンブルランとは違ったマーラーを聴かせてくれることを楽しみにしたい。

マーラー・イヤーを彩る最高の歌手たち

PROGRAM

マーラー:《アダージョ》～交響曲 第10番
Mahler (1860-1911): "Adagio" from Symphony No. 10

— 休憩 —

マーラー:《大地の歌》
Mahler: "Das Lied von der Erde"

第1楽章 大地の悲しみに寄せる酒の歌
I. Das Trinklied vom Jammer der Erde

第2楽章 秋にさびしきもの
II. Der Einsame im Herbst

第3楽章 春春について
III. Von der Jugend

第4楽章 美について
IV. Von der Schönheit

第5楽章 春に酔えるもの
V. Der Trunkene im Frühling

第6楽章 別れ
VI. Der Abschied



ミヒャエル・ボーダー (指揮)
Michael Boder (Conductor)

ドイツ生まれ。母国やフィレンツェで学んだ後、ミヒャエル・ギーレンの助手を務める。バーゼル歌劇場音楽監督に就任するとともに、欧州の歌劇場で活躍。現在、バルセロナのリセウ大劇場音楽監督。



リオバ・ブラウン (メゾ・ソプラノ)
Lioba Braun (Mezzo Soprano)

ドイツ生まれのメゾ・ソプラノ。ワーグナー等の多数のオペラに出演し、コンサートではムーティ、ラトル、パレンボイム、シャイー、アバドといった著名な指揮者と共演。近年は歌曲のリサイタルにも力を入れている。



ロバート・ディーン・スミス (テノール)
Robert Dean Smith (Tenor)

アメリカ・カンザス州生まれ。ドラマティックなヘルデンテノールとして称賛される一方、多くのコンサートにも出演し、ムーティ、メータ、パレンボイム、ティーレマン等の巨匠や、名門管弦楽団と共演を重ねている。

読売日本交響楽団 (管弦楽)

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo (Orchestra)

大地の歌について

1907年から1909年にかけて作曲された作品。10年間監督を務めたウィーン宮廷歌劇場(現:ウィーン国立歌劇場)を去ることになり、また、私生活では特に可愛がっていた長女が急死、さらに自らも心臓病と診断されるなど、この時期マーラーには様々なよくない出来事が起きた。これらの衝撃は彼に人の生死についてより強く意識させる一因となったといわれている。そんな中、ドイツ語圏で当時大ヒットしたベトゲの訳案による詩集「中国の笛」を友人からもらったマーラーは、厭世的な詩の内容に魅せられ、その中から選んだ7編の詩に自らも少し手を加え、この作品を作り始めた。完成した作品は、作曲家自らによって《大地の歌》と名付けられた。マーラーにとって、本来は9番目の交響曲にあたるが、ベートーヴェンやシューベルト、ブルックナーが9番目の交響曲を作った後に死を迎えたというジンクスを強く意識し、あえて「交響曲 第9番」としなかったという妻アルマの話も残されている。作曲家マーラーの大転換期にかかれた、晩年の傑作として、演奏される機会の多い人気作品のひとつ。

東京・春・音楽祭 - 東京のオペラの森2011 -

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りです。

明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1ヵ月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワーグナー・シリーズ」やオーケストラ公演、国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、上野公園内の美術館、博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」など、約60公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとときに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる。そんな「東京・春・音楽祭 - 東京のオペラの森2011 -」が東京・上野の春を美しく彩ります。

春が訪れ
桜がひらいて
音楽が始まる
上野の森に

開催期間 3月18日(金)～4月10日(日) <http://www.tokyo-harusai.com/>

チケット発売 2010年12月5日(日) 10:00～

東京・春・音楽祭実行委員会 <http://www.tokyo-harusai.com/> オンライン・チケットサービス(座席選択可能)

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレーター) 会館内チケット売場にて販売有

チケットぴあ 0570-02-9999 (自動音声) Pコード: 122-426 <http://pia.jp/t/harusai2011/> (パソコン・携帯電話共通) 全国のチケットぴあ店舗にて販売有
e+(イープラス) <http://eplus.jp/harusai2011/> (パソコン・携帯電話共通) 0570-06-9995 (オペレーター) ※発売初日特別番号(10:00～18:00のみ)

U25 U-25チケットについて

25歳以下の方が対象。
お取扱いは東京・春・音楽祭実行委員会公式ホームページのみ。
チケットページにて詳細をご確認の上、お申込みください。

PRESENT プレゼント

東京・春・音楽祭 - 東京のオペラの森2011 - の有料公演のうち、3公演分をご購入くださったお客様にプレゼントをさしあげます。ご来場の際に3枚(3公演分)のチケットを受付にご提示ください。

※車椅子席、団体でのご鑑賞など詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会までお問合せください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる可能性がございますが、出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

公演に関するお問合せ 東京・春・音楽祭実行委員会 03-3296-0600 <http://www.tokyo-harusai.com/>

携帯サイト
チケット申込み可能

